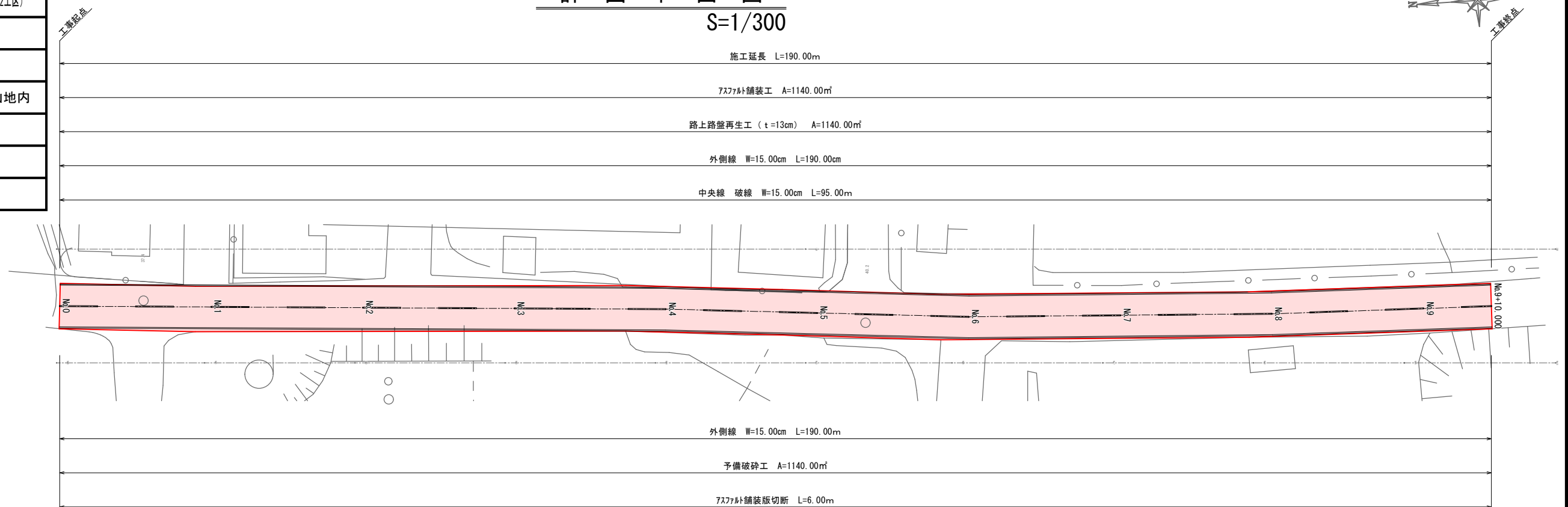
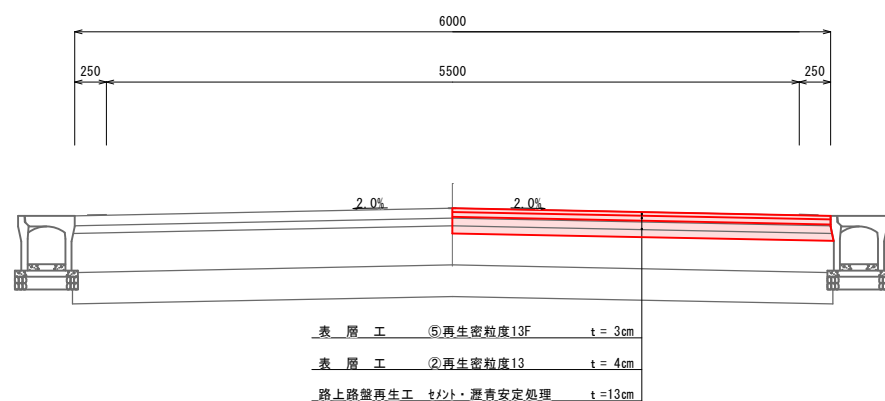


令和5年度	木ノ下・鶉久保線舗装補修工事（2工区）
工事番号	第148号
路線名	木ノ下・鶉久保線
施工箇所	おいらせ町鶉久保山内
縮尺（A1）	図示
図面番号	3 葉中 3
おいらせ町	

計 画 平 面 図

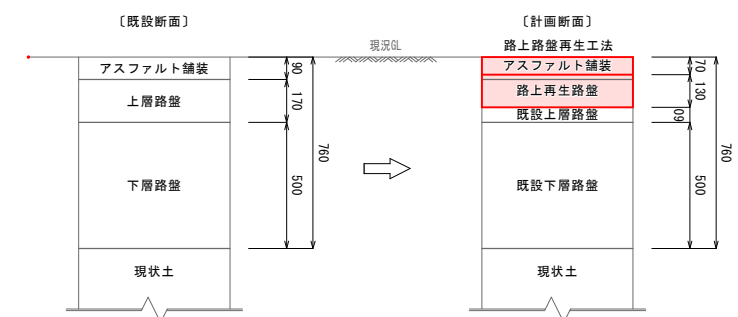
$$S=1/300$$


標準断面図

$$S=1/30$$


※ 標記の横断勾配は標準値を示したものであり、
施工時は現地の勾配に合わせるものとする。

設計条件	
交通量区分	N4 (100以上250台/日未満)
設計 C B R	2%
設計期間	20年
目標 T A	24
凍結深	70cm



種 別	厚さ (cm)	TAO	
アスファルト舗装	8	8×0.50	4.00
既設上層路盤	6	6×0.20	1.20
既設下層路盤	31	31×0.15	4.65
凍上抑制層	25	—	—
合 計	70		9.85

〔計画断面〕

種 別	厚さ (cm)	TAO	
アスファルト舗装	7	7 × 1.00	7.00
路上再生路盤	13	13 × 0.65	8.45
既設上層路盤	6	6 × 0.20	1.20 ※残存TA
既設下層路盤	50	50 × 0.15	7.50 ※残存TA
凍上抑制層	—	—	
合 計	76	24 ≤ 24.15	

※ 路上再生セメント・瀝青安定処理路盤の配合量と使用量は以下の通りとする。

セメント混入率	2.5%	使用量	0.696 t/100m ²
As乳剤混入率	4.5%	使用量	1.265 ㎏/100m ²

工事受注者は、工事に先立ち、配合試験を行い添加材使用量の確認を行い、発注者の承認を得ることとする。